

取扱説明書

Bluetooth タッチパッド搭載
折り畳みキーボード



Get Win with EWiN

目次

1. はじめに	1
2. 注意事項「非常に重要」	1
3. 製品仕様	2
4. パッケージ内容	2
5. 各部の名称と動き	3
6. 充電について	3
7.LED 指示ランプの反応について	4
8.Bluetooth 接続方法	5
9. 問題対処法：Bluetooth 接続について	6
10. マルチメディアファクションキー	10
11. 問題対処法：キーの使用について	11
12.トラックパッドジェスチャー	18
13. オートスリープ	25
14. お手入れ方法	25

この度は弊社のブルートゥースタッチパッド搭載折り畳みキーボードをお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。ご使用前に、この説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。この説明書は商品と共に保管するようにお願いします。また、説明について疑問がある場合、商品の不具合を感じた場合は、お気軽にご連絡ください。至急対応させていただきます。

注意事項「非常に重要」

1. 本キーボードの電源スイッチをオンにした後、左三番目の LED ランプ (BT ランプ) が数秒間青く点灯してから消灯します。充電した後、電源スイッチを ON にした場合、左三番目の LED ランプ (BT ランプ) も数秒間青く点灯してから消灯します。それは商品の設計ですが、キーボードを充電できない問題ではないです。
2. Bluetooth ペアリングモードに入るために、Fn+**①/②/③**を押してから、Fn+C(Pairing)を押してください。Fn+**①/②/③**を押さなくて、直接Fn+C(Pairing)を押すと、Bluetooth ペアリングモードに入ることができません。
3. 左右クリック機能を使用できるように、Win OS 10 以上 / iOS 13.4.1 以上のバージョンが必要です。
4. 一部の記号 (@ など) の入力ですれる場合、説明書の「※※問題対処法※※【キーボードのキー使用に関して】<重要>」の「(1) 問題：一部のキーを押して違う文字が入力される。」部分の内容をご参照ください。

製品仕様

キーボードのサイズ	30.5*9.7*0.6cm(開く状態)
	15.2*9.7*1.2cm(折り畳む状態)
タッチパッドのサイズ	13.2*6.1cm
重量	276.9g
キーの動作電流	<4mA
タッチパッドの動作電流	10mA
動作電圧	3.7V
動作距離	10m
スタンバイ電流	<0.65mA
スリープ電流	27 μ A
スリープ時間	10分間
スリープ状態からの復帰方法	任意のキーを押す
バッテリー容量	140mAh
適用充電電圧電流	5V 1A/2A
接続方式	Bluetooth 5.1
対応OS	Windows/iOS/Mac

パッケージ内容:

Bluetooth 5.1 タッチパッド搭載折り畳みキーボード	1個
スマホタブレットスタンド	1個
Type-C充電ケーブル	1個
日本語取扱説明書	1個

各部の名称と動き



Fn+C(Pairing)でキーボードをBluetoothペアリングモードにします。

充電について

1. ご使用前に付属の USB-A&Type-C ケーブルでキーボードを十分充電してください。
電気不足であれば、正常に使用できない場合があります。
2. 電量は少なく、電圧が 3.3V より低いと、タッチパッドの上の左 4 番目の LED ランプが赤く点滅します。その時は、キーボードを充電する必要があります。フル充電は 2-3 時間が必要です。充電する時に LED ランプが緑に点灯して、フル充電したら消灯します。

ご注意：本キーボードの適用充電電圧電流は 5V 1A/2A です。充電する時に充電器の電圧 / 電流

の充電器の使用をやめてください。電池を損傷する可能性があります。バッテリー寿命を延ばすために、充電完了したら、できるだけ早く充電ケーブルを抜き出してください。長時間使用しない場合はキーボードの電源をオフにしてください。

LED指示ランプの反応に関して

左一番目の「1」: NumLock キーを押すことで、NumLock 状態をオン / オフにできます。NumLock をオンにした後、キーボードを使用しなければ、「1」ランプが 10 分間ぐらい青く点灯して消灯します。キーボードを使用する際に「1」ランプは常時青く点灯していますが、途中に無操作の状態で 10 分間続くと、「1」ランプが消灯します。iOS/Mac デバイスでは NumLock キーが使用出来なく、ランプも無反応です。

左二番目の「A」: CapsLk キーを押すことで、英数大文字と小文字の切り替えができます。「A」ランプをオンにした後、キーボードを使用しなければ、「A」ランプが 10 分間ぐらい青く点灯して消灯します。キーボードを使用する際に「A」ランプは常時青く点灯していますが、途中に無操作の状態で 10 分間続くと、「A」ランプが消灯します。(一部の機種や入力アプリでは大文字が固定されない場合もあります。)

左三番目の「BT」:

電源オン: 電源スイッチを ON 側にしたら、LED ランプが数秒間青く点灯してから消灯します。

Bluetooth ペアリング: 電源オンの状態で Fn+①/②/③を押してから、Fn+Pairing を押したら、LED ランプが青く点滅し、キーボードがペアリングモードに入ります。Bluetooth 接続が完了になったら LED ランプが消灯します。

デバイス切り替え: Fn+①/②/③を押したら、LED ランプが 2 秒間ぐらい青く点灯してから消灯

します。押した後、「BT」ランプが無反応であれば、キーボードは既にこの接続先に切り替えた状態である可能性があります。

左四番目の「」：充電する時にLEDランプが緑に点灯して、フル充電したら消灯します。電圧が3.3Vより低いと、ランプが赤く点滅します。

Bluetooth接続方法

一、1台目の端末に接続する方法：

1. タッチ패드右側の電源スイッチを OFF から ON 側にスライドし、「BT」LED ランプが数秒間青く点灯してから消灯します。
2. 接続する前に一度 Fn+A(❶) を押してから、Bluetooth 接続用の C(Pairing) と Fn キーを同時に押したら、「BT」LED ランプが青く点滅し、キーボードがペアリングモードに入りました。
3. お使いの端末（携帯、タブレットなど）の Bluetooth をオンにし、接続可能なデバイスを検索してください。
4. お使いの端末の Bluetooth 管理画面に本製品の認識 [EWiN BT 5.1 KB] が検出されましたらクリックします。「Bluetooth ペアリング」という内容のポップアップが出て、「ペア」をクリックします。
5. 暫くして Bluetooth 管理画面に本製品の認識 [EWiN BT 5.1 KB] のところに接続済みと表示されましたら、接続完了になり、キーボードを操作できるようになります。

二、2台目、3台目の端末に接続する方法：

上記の1台目の端末に接続する方法をご参考の上、接続する前に Fn+S(❷) または Fn+D(❸) を短押しして、第2台目の端末と3台目の端末のペアリングを実行してください。この操作が完了した後は3台の端末が全て待受状態になります。

三、接続端末の切替：

本製品は 3 台の端末を接続する可能です。複数台の端末に接続している場合は Fn+A/S/D を押して接続先を切り替えることができます。

 +  = デバイス1

 +  = デバイス2

 +  = デバイス3

※問題対処法※【Bluetooth接続に関して】

一、お使いのデバイスは本キーボードの Bluetooth を検索できない場合：

1. キーボードはペアリングモードであるかどうかで確認ください。キーボードは Fn+①/②/③を押してから、Fn+C(Pairing) を押す必要があります。「BT」ランプが青く点滅すれば、キーボードがペアリングモードに入ります。
2. 本キーボードまたはお使いの端末は電量不足であれば、正常に動作出来なくなってしまうます。一度本キーボードまたはご使用端末を十分充電してください。
3. ご使用端末の Bluetooth をオフにして、再度オンに設定してからペアリングをやり直してください。それもだめなら、ご使用端末を再起動してください。
4. 本キーボードの電源をオフオンにした後ペアリングをやり直してください。
5. ご使用端末と本キーボードの距離は遠いである可能性があります。距離は遠くなるほどブルートウースの信号が弱くなり、1m 以内をおすすめいたします。
6. キーボードの周りに金属物や磁場またはワイヤレス

電波を発射する電子機器があると、Bluetooth 接続を干渉する恐れがあります。場所を変えるか、ワイヤレス電波を発射する電子機器の電源または Bluetooth をオフにするか必要ない金属物や電子機器を遠いところへ移してください。

7. ご使用端末が最新 OS にアップデートしていなく、古い OS はバグや不具合の原因になります。一度 OS の更新状況をご確認の上、最新 OS にアップデートしてから接続をやり直してください。

二、お使いのデバイスは本キーボードの Bluetooth を検索でき、ペアリングできない場合：

1. 本キーボードの電源をオフオンにした後ペアリングをやり直してください。
2. ご使用端末は本キーボードを接続したことがあり、端末の Bluetooth をオフにしてからオンにして、Bluetooth 記録一覧にある本キーボードの認識をタッチしても接続できないのです。その場合は本キーボードの認識を解除してから Bluetooth 接続をやり直してください。
3. 本キーボードがマルチペアリング可能で、複数端末で使用している場合は本キーボードが他の端末に接続されている可能性があります。その際にご使用端末の Bluetooth 管理画面に表示されている認識をタッチしても接続されません。「接続できませんでした」という内容のポップアップが出ます。Fn+①/②/③でキーボードの接続先を切り替えてからご使用ください。
4. 本キーボードまたはお使いの端末は電量不足であれば、正常に動作出来なくなってしまいます。一度本キーボードまたはご使用端末を充分充電してください。
5. お使いのデバイスのメモリーはいっぱいであるか CPU 使用率はとても高い場合、システムがフリーズする恐れがあります。必要ないアプリなどをアンインストールしてメモリーを解放するかお使いのデバイ

スを再起動してください。

6. キーボードの周りに金属物や磁場またはワイヤレス電波を発射する電子機器があると、Bluetooth 接続を干渉する恐れがあります。場所を変えるか、ワイヤレス電波を発射する電子機器の電源または Bluetooth をオフにするか必要ない金属物や電子機器を遠いところへ移してください。
7. 本製品を複数点購入して同じデバイスで本製品の新しいキーボードをペアリングする時に Bluetooth 名前を混乱させて、ペアリングが出来なくなってしまう。Bluetooth デバイス一覧の同じ Bluetooth 名前の記録を解除してから接続したいキーボードとのペアリングを実行してください。

三、ペアリング実行中にPINコードが表示されないが、PINコードの入力が要求される場合:

ご使用の端末自体にすでに接続されたキーボード(有線キーボード・ノートパソコン搭載キーボード・タッチパネルなど)から、任意の数字(1111、1234など)を入力して、接続をクリックします。次に接続したい Bluetooth キーボードから、先ほど入力した任意の同じ数字入力して Enter キーを押します。

四、お使いのデバイスはキーボードの Bluetooth を検索でき、ペアリングもでき、キーボードは使用できない場合:

ご使用端末で本キーボードの認識を解除して、Bluetooth をオフオンにします。本キーボードを電源オフオンにしてから再度 Bluetooth 接続を実行してください。

五、キーボードのBluetooth通信が頻繁に途切れる場合:

1. 本キーボードまたはお使いの端末は電量不足であれば、正常に動作出来なくなってしまうます。一度本キーボードまたはご使用端末を十分充電してください。
2. キーボードの周りに金属物や磁場またはワイヤレス電波を発射する電子機器があると、Bluetooth接続の安定性に影響を与えます。場所を変えるか、ワイヤレス電波を発射する電子機器の電源またはBluetoothをオフにするか必要ない金属物や電子機器を遠いところへ移してください。
3. ご使用端末のメモリーはいっぱいであるかCPU使用率はとても高い場合、システムがフリーズする恐れがあります。必要ないアプリなどをアンインストールしてメモリーを解放するかご使用端末を再起動してください。
4. お使いのデバイスは省電力モードであると、Bluetooth接続は不安定になってしまう可能性があります。省電力モードをオフにしてください。
5. キーボードが10分間使用しない場合、省エネのためにBluetoothを自動的にオフにします。お手持ちのデバイスのBluetooth管理画面一覧に表示された本製品の認識が未接続と表示されています。任意のキーを押したら、キーボードが復帰し、Bluetoothは自動的に接続されます。
6. ご使用端末が最新OSにアップデートしていなく、古いOSはバグや不具合の原因になります。一度OSの更新状況をご確認の上、最新OSにアップデートしてから接続をやり直してください。

六、キーボードが故障しているか検証する方法:

ご使用端末は他のマウスやキーボードと接続をし、他のマウスやキーボードは無事に接続できるが、本キーボードが接続できない場合は本製品故障の可能性

が高いです。本キーボードと他のデバイスとの接続を行い、他のデバイスでも接続できない場合は本キーボード故障の可能性が高いです。でなければ、本キーボード不良ではなく、お手持ちのデバイスは異常が発生している可能性が高いです。

検証した結果、本キーボード故障だと思っている場合はお手数ですが、弊社にご連絡いただければ迅速に対応させていただきますので、ご安心ください。

マルチメディアファクションキー

システム キー	Windows	Windows	Mac	Mac	iOS
操作	FnとShiftと同時に押す	Fnと同時に押す	FnとShiftと同時に押す	Fnと同時に押す	Fnと同時に押す
~  Esc	既定のブラウザを開く	Esc	Esc	ホームへ	ホームへ
!  F1	検索	F1	F1	検索	検索
@  F2	全部選択	F2	F2	全部選択	全部選択
#  F3	コピー	F3	F3	コピー	コピー
\$  F4	ペースト	F4	F4	ペースト	ペースト
%  F5	切り取り	F5	F5	切り取り	切り取り
^  F6	前の曲	F6	F6	前の曲	前の曲
&  F7	ポーズ/再生	F7	F7	ポーズ/再生	ポーズ/再生
*  F8	次の曲	F8	F8	次の曲	次の曲
( F9	ミュート	F9	F9	ミュート	ミュート
)  F10	音量減少	F10	F10	音量減少	音量減少
=  F11	音量増加	F11	F11	音量増加	音量増加
+  F12	画面ロック	F12	F12	画面ロック	画面ロック
↓  ←		¥/ー		¥/ー	¥/ー

※で注意:

1.iOSデバイスでは、Escの機能を実現するには2回FnとShiftと同時に押す必要です。

2.お使いの端末の違いによっては個別のマルチメディアアクションキーは使用できない場合がありますのであらかじめご了承ください。「検索」、「画面ロック」キーは一部の古いバージョンのMac/iOSデバイスでは使用できないのです。

※※問題対処法※※【キーボードのキー使用に関して】

<重要>

(1)問題:一部のキーを押して違う文字が入力される。

対処法:

1)本キーボードはiOS/Windows/Macに対応していますが(他のOSのデバイス<Switch、ChromecastやTVなど>に対応していない)、ご使用前にキーボード印字通りに入力できるように一度Fnと組み合わせてキーボードのレイアウトをご使用端末のOSと一致するように設定してください。Fn+Qを押して、iOSシステムに切り替え、Fn+Wを押して、Winシステムに切り替え、Fn+Eを押して、Macシステムに切り替えてください。

 +  = iOSシステム

 +  = Windowsシステム

 +  = Macシステム

2)本キーボードはJIS日本語配列で、一部の記号(@など)の入力がずれる場合、原因は本キーボードが英語配列キーボードとして認識されている可能性が高いので、Bluetooth接続をした後、一度物理キーボードレイアウトを日本語に設定してから動作確認をしてください。

設定方法は下記の通りです。

iOSデバイスの設定方法:

iOSデバイスは一般的に自動的にこのキーボードレイアウトを日本語に識別できるのですが、識別できない場合、手動でご設定ください。

設定-一般-キーボード-ハードウェアキーボード、ハードウェアキーボードに表示されたレイアウトを下記通りに設定してください。

日本語ローマ字⇒自動 英語⇒自動

日本語かな⇒かな入力

Win OSデバイスの設定方法(Win10を例として):

①「設定」を開いて「時刻と言語」をクリックします。

②左側で「地域と言語」または「言語」を選択し、右側の「言語」または「優先する言語」にある「日本語」をクリックします。

③ボタンが表示されるので「オプション」をクリックします。

④言語のオプション画面が開きますので「レイアウトを変更する」をクリックします。「レイアウトを変更する」をクリックしたら、「日本語キーボード(106/109キー)」と「英語キーボード(101/102キー)」が表示されると思いますが、ここには「日本語キーボード(106/109キー)」を選択してから再起動してください。

また、Win7での設定方法は下記のQRコードの内容をご覧ください。



Mac OSデバイスの設定方法:

Mac OSデバイスは一般的に自動的にこのキーボードレイアウトを日本語に識別できるのですが、識別できない場合、手動でご設定ください。

①アップルメニューから「システム環境設定」を選択。

②「キーボード」を選択。

③「キーボードの種類を変更」を選択。

④「続ける」をクリック。

⑤「Z」のキーを押下。

⑥「ろ」のキーを押下。

⑦「JIS (日本語)」を選択した後、「完了」をクリック。

※物理キーボードレイアウトの設定方法はお使いの端末のOSバージョンによって手順が違います。うまく設定できない場合はお使いの端末とOSをご確認の上、注文履歴よりメールにて弊社にご連絡ください。

3) 上記1) 2)のことを実行した後キー入力はい依然としてずれる場合、原因はご使用端末がほかの英語配列キーボードと接続したことあり、デフォルトで本日本語配列キーボードを英語配列キーボードに識別したのです。

ご使用端末のBluetoothデバイス一覧の接続記録を全部解除して、有線キーボードのケーブル/2.4G接続キーボードのレシーバーをデバイスから抜き出してご使用端末を再起動してから本キーボードのみの接続をやり直してください。このようにしてからご使用端末は本キーボードを日本語配列キーボードに識別でき、キーの入力は正常に復帰できます。

(2)一部のキー説明(使用できないキーなど)

a.本キーボードは多システム(iOS/Windows/Mac)対応ですが、全てのキーは全部のOSのデバイスで使えるわけではないです。**F1~F12**はiOS端末では使用できません。**NumLock、テンキーエリアの矢印キー/Home/End/PgUp/PgDn/Ins/Del**はiOSとMac

OSデバイスでは使用できないのです。「Alt・Option」、**「Win・Cmd」**キーはiOS/Mac OSデバイスではWinとAltが使用できなく、Win OSデバイスではOptionとCmdが使用できないのです。「**検索**」、「**画面ロック**」キーは一部の古いバージョンのMac/iOSデバイスでは使用できないのです。「**半角・全角漢字**」はiOS/Mac OSデバイスでは使用できないのですが、Win OSデバイスでは日本語入力モードのみで使用できます。「**変換**」、「**無変換**」キーは、Win OSデバイスでは日本語入力モードのみで使用でき、iOS/Mac OSデバイスではFn+変換 が「かな」キーの機能あり、Fn+無変換 が「英数」キーの機能あります。「**カタカナひらがな・ローマ字**」キーはWin OSデバイスの日本語入力モードのみで使用できます。**青い印字**のキーが一般的にはFnと組み合わせて押す必要があります。

b.バックスラッシュ「\」のキーが印字通りに入力できない場合、Win OSデバイスでは入力方法/フォントを変換した後正常に復帰できます。Mac OS/iOSデバイスでは、ローマ字/英語入力方法を切り替えた後、Option→Fn→¥の順に三つのキーを同時に押して入力できます。さらに、一部の古いMac OSデバイスでは設定を変更する必要があります。設定手順:「システム環境設定」>「キーボード」>「入力もと」>「日本語」>「¥」キー生成>\(バックスラッシュ)を¥(円マーク)に変更してください。

c.青い印字のHome/End/PgUp/PgDnについて、Mac OSデバイスではFn+青い印字のPgUp/PgDn/Home/Endが機能しない場合、Cmd+PgUp/PgDn/Home/Endを押してください。iOSデバイスでは、Fn+Qでシステム切り替えをしないと、Fn+青い印字のPgUp/PgDn/Home/Endが機能しない場合、Ctrl+矢印キーでお試ください。

d.Windows端末ではCtrl+Cで選択した内容をコピーして、Ctrl+Vで貼り付けできますが、iOSとMacではCmd+Cで選択した内容をコピーして、Cmd+Vで貼り

付けしてください。

e.Windows端末ではテンキーエリアの0から9までの数字と演算記号のキーを入力できます。またNumLockを押すと、テンキーエリアの数字や小数点が入力出来なくなり、数字に印刷された矢印やDel機能などが利用できるようになります。iOSとMac端末ではNumLockを押してもテンキーをロックすることができませんので、あらかじめご了承ください。

f.キーボードのアルファベットテンキー両方の機能あるキーをオンにしたら、**O/U/I/O/P/J/K/Lなどのキー**が正常に反応できなくなってしまうます。アルファベットテンキー両方の機能あるキーをオフにしたら、正常に復帰できます。

オフにする方法は下記の通りです。

Win OSデバイス:

Fn+NumLockを押します。

iOSデバイス:

設定-アクセシビリティ-タッチ-AssistiveTouch-マウスキー-「マウスキー」と「主キーボードを使用」との二つのボタンをオフにしてください。

Mac OSデバイス:

「システム環境設定」>「アクセシビリティ」>「マウスとトラックパッド」>「マウスキーを有効にする」にチェックを外せ、マウスキーは無効になります。

(3)かな入力をする前に、ご使用端末でかな入力方法をインストールする必要があります。

かな入力方法をインストールする手順:

iOSデバイス:

設定⇒一般⇒キーボード⇒キーボード⇒新しいキーボードを追加⇒日本語⇒「かな入力」を選択⇒「完了」をクリック

Win OSデバイス:

日本語入力方法のインストールパッケージをダウンロードしてインストールします。

Mac OSデバイス:

システム環境設定⇒キーボード⇒入力方法⇒左下の「+」をクリック⇒日本語⇒「日本語-かな」を選択⇒「追加」をクリック

(4)入力方法切り替え

Windows端末⇒

Shift+Alt:多国語入力アプリの切り替え(多国語の入力アプリがインストールされた場合)

Shift+Ctrl:複数日本語入力アプリの切り替え(複数の日本語入力アプリがインストールされた場合)

CapsLk(英数):日本語入力⇄英数

Fn+変換:日本語入力⇄英数

半角/全角漢字:日本語入力⇄英数

Fn+:ローマ字入力⇄かな入力

Fn+無変換:ひらがな⇄カタカナ⇄半角カタカナ

Win/Cmd+Space:複数の入力アプリ間の切り替え(WindowsのOSバージョンや設定によっては機能しない場合もあります。)

iOS端末⇒

入力方法の切り替えショートカット:Ctrl+Space

一部古い端末はCmd+Spaceとなります。

Fn+変換:日本語入力

Fn+無変換:英数

Mac端末⇒

入力方法の切り替えショートカット:Ctrl+Space

一部古い端末はCmd+Spaceとなります。

Fn+変換:日本語入力

Fn+無変換:英数

(5) iOSデバイス(iPad/iPhone)のバージョンは13.4にアップデートされた後、「ライブ変換」がデフォルトでオンになっています。日本語を入力して行くと

自動的に候補を判別して漢字に変換されて、変換候補の画面が表示されない場合があります。

お手持ちのiOSデバイスで「設定」→「一般」→「キーボード」→「ハードウェアキーボード」の「ライブ変換」をオフにすると、文字入力時に変換候補の画面が表示され、自由に入力候補を選択できます。

(6)キーボードのキーは反応悪い/遅延/連打である場合、下記のことをご確認をお願いします。

①本キーボード以外の電波の干渉を受けると、Bluetooth接続はうまくできなくなる場合、キー反応も悪く/遅延になる可能性があります。他の電波を放射する機器の電源またはBluetoothをオフにするか遠いところへ移してください。

②本Bluetoothキーボードまたはお使いの端末は電量不足であれば、動作は不安定になってしまう可能性があります。一度本キーボードまたはご使用端末を十分充電してからご使用ください。

③お使いのデバイスはフリーズするまたはタイムリーにBluetooth信号を受信できない場合、キーの反応は悪く/遅延になる可能性があります。この際は、お使いのデバイスを再起動してからBluetooth接続をやり直してください。

④キーの隙間にほこりなどがあると、キーの反応は悪く/遅延になり、連打になる可能性があります。キーボードを逆さまにして数回振動するか、ドライヤーでキーの隙間に向けてほこりなどを吹き飛ばします。

⑤キーの連打はご使用端末のキーボードの繰り返し遅延の設定に関係もあります。

Win OSデバイスを例として、設定方法を説明いたします。コントロールパネル-キーボード-繰り返し遅延の設定を適切にご調整をお願いします。非常に短いに設定すると、キーの連打が発生する可能性があります。

⑥キーは反応悪い/遅延/連打であると、キーボードを電源オフオンにしてから、Bluetooth接続をやり直し

た後使用をお試しください。

(7) キーキャップを取り付ける方法

キーキャップが取れた場合、パンタグラフとキーキャップは破損ないと、キーキャップをパンタグラフの真上に置いて、キーキャップの角を順に押して取り付けます。パンタグラフも取れた場合、パンタグラフをキー底部に取り付けた後キーキャップを取り付けます。

トラックパッドジェスチャー

Windows OS デバイス：

1. ご使用前に Fn+W を押して Windows OS に切り替えてください。

2. Win10 と Win10 以上のバージョンが必要です。Win10 以下バージョンのデバイスではいくつかのジェスチャーが使用できませんが、あらかじめご了承ください。



マウスの左クリック⇒
1本指でタップします。



ズームする。⇒
2本の指を互いに寄せて置きます。ピンチオープンすると拡大し、ピンチクローズすると縮小します。



マウスのスクロールボタン、上/下/左/右にスクロールする。⇒
2本指で上/下/左/右にスワイプします。



アクティブウィンドウの切り替え⇒
3本指をタッチパッドに置いて左にスワイプします。



検索⇒
3本指でタップします。



アクティブウィンドウの切り替え⇒
3本指をタッチパッドに置いて右にスワイプします。



タスクブラウザウィンドウを開く⇒
3本指で上にスワイプします。



デスクトップ画面へ戻る⇒
3本指で下にスワイプします。



アクションセンターを開く⇒
4本指でタップします。

iOS デバイス：

ご注意：

①ご使用前に Fn+Q を押して iOS に切り替えてください。

②タッチパッドをご使用になる前には、ご使用のデバイスの OS バージョン及びタッチパッド機能が有効に設定していることをご確認ください。

OS バージョン：お使いの端末は iOS 13.4.1 以降のバージョンにアップデートしていない場合はタッチパッド機能が利用できません。

お手持ちのデバイスでタッチパッドを有効に設定する方法：

「設定」→「アクセシビリティ」→「タッチ」→「AssistiveTouch」をオンに設定します。



クリック(カスタムが必要)⇒
1本指でタップする



ポインターが動く⇒
1本指でスワイプする



ドラッグ⇒
1本指でダブルタップしてぐっと止めて動かす



ピンチオープンすると拡大し、ピンチクローズすると縮小する
(Safariのみ対応)⇒
2本の指をお互いに寄せて置く



上下にスクロールする⇒
2本指で上下にスワイプする



ホーム画面を左右に切り替える⇒
2本指で左右にスワイプする



Appスイッチャー画面を開く/閉じる(ホームキーをダブルタッチする)⇒
3本指で下にスワイプする



ホームに戻る(カスタムが必要)⇒
3本指でタップする



Dockを開く/閉じる(Cmd+Alt+D)⇒
3本指で上にスワイプする



起動中のAppを左に切り替える(Cmd+Shift+Tab)⇒
3本指をタッチパッドに置いて左にスワイプする



起動中のAppを右に切り替える(Cmd+Tab)⇒
3本指をタッチパッドに置いて右にスワイプする



キャプチャ(Cmd+Shift+4)⇒
4本指でタップする

タッチパッドジェスチャのカスタマイズ設定

例:3本指クリックでホーム画面に戻るに設定する方法

「設定」→「アクセシビリティ」→「タッチ」→「AssistiveTouch」を「オン」にする→「デバイス」→「EWin BT 5.1 KB」→「追加のボタンをカスタマイズ...」→「ボタンをカスタマイズ」「ポインティングデバイスのボタンを押して、アクションを追加します。キャンセル」という内容のポップアップが出ます。

この画面が表示されていた状態でキーボードのタッチパッドで3本指でクリックする→ボタンカスタマイズ機能の選択画面が出ます→ホームを選択したら、設定完了します。

次にタッチパッドで3本指でクリックすると、ホームの画面に戻ります。

※※問題対処法※※「タッチパッドに関して」【iOSデバイス】

1)ご使用前にこのタッチパッド付きキーボードとお手持ちのデバイスを十分で充電ください。電気不足で動作が不安定になってしまう可能性があります。

2)iPhoneでは機種によっていくつかのジェスチャが使用できませんが、予めご了承ください。

3)マウスポインターが表示されない/タッチパッドが反応しません。

回答→①タッチパッド機能がオンに設定していない可能性がありますので、「設定」→「アクセシビリティ」→「タッチ」→「Assistive Touch」をオンに設定してから動作確認を行ってください。

②お使いのデバイスのメモリーはいっぱいである可能性があります。必要ないアプリなどをアンインストールしてメモリーを解放してください。

③iOS 13.4.1以前のバージョンはタッチパッドに対応しませんので、ご使用のOS バージョンをご確認ください。

④キーボードよりタッチパッド機能を禁止している可能性がありますので、一度 Fn+Spaceキーでタッチパッドの禁止を解除してから動作確認をしてください。

4)手が震える、押さえる力が弱いなどタッチの感覚がうまくいかないと感じる場合は、設定→アクセシビリティ→タッチ→タッチ調整を有効にし、指がタッチされる時間を調整することで使いやすくなる場合があります。この設定は、デバイス画面のタッチの設定ですが、弊社キーボードのタッチパッドの設定としても共通になります。詳しくは、アップルのサポートでご確認ください。また、タッチパッドの操作がうまく行かない場合、タッチパッドから指を離してしばらくお待ちください。それもだめなら、ご使用端末または本キーボードを再起動してください。なお、タッチパッド反応が良くない時に保護フィルムを剥がすことをおすすめいたします。

5)ジェスチャの使用注意書き:

①クリック:iOSデバイスの原因で、場合によっては複数回クリックする必要があります。

ご調査いたしましたところ、市販の多くのタッチパッド付きキーボードやマウスはiOSデバイスで使用されますと、このような現象が発生しています。予めご了承ください。

②カーソルの移動:iOSデバイスのアプリアイコン画面では、マウスポインターは画面の底部に移動した後続いて移動すると、すべてのAppスイッチャー画面を開きます。一つの開いているApp画面ではマウスポインターは画面の底部に移動した後続いて移動すると、Dockプログラム欄を開きます。マウスポインターは画面の頂部に移動した後続いて移動するとロック中の画面に入ります。

③ドラッグ:iOSデバイスのアプリアイコン画面では、一つのAppアイコンを1本指で素早く2回クリックしてから指をタッチパッドに数秒間置いた後、Appアイコンを移動できます。

④上または下にスクロールする:

①2本指を離して平行に上下にスワイプしてください。ジェスチャが誤作動しないように2本の指を揃えてスワイプし、それとも斜めにスワイプしないでください。

②スクロールする時にマウスポインターを画面のすべてのスクロールできないところ(頂部の時間・日付曜日・wifi電量&ウェブアドレス欄&開いているウェブページ欄&メニューフローティングボール&底部のDockなどがある任意のところ)に置かないでください。

③不注意でメニューを開き、1本指でクリックすることでそれをメニューフローティングボールにした後、スクロールできなくなる場合、マウスポインターを移動した後正常に復帰できます。

④iOSシステムフリーズで、マウスポインターは画面のスクロールできないところに置かなくてもスクロールできない場合は、直接指でご使用端末の画面をスクロ

ールして、または1本指でクリックすることで画面を活性化してください。それもだめなら、「Assistive Touch」をオフオンにするか、Bluetooth接続をやり直すか、それともお手持ちのデバイスを再起動してください。

⑤ホーム画面を左右に切り替える:

①2本指を離して平行に左右にスワイプしてください。ジェスチャが誤作動しないように2本の指を揃えてスワイプし、それとも斜めにスワイプしないでください。

②切り替える時にマウスポインターを画面のすべての切り替えることのできないところ(頂部の時間・日付曜日・wifi電量&メニューフローティングボール&底部のDockなどがある任意のところ)に置かないでください。

③不注意でメニューを開き、1本指でクリックすることでそれをメニューフローティングボールにした後、切り替えることができなくなる場合、マウスポインターを移動した後正常に復帰できます。

④iOSシステムフリーズで、マウスポインターは画面の切り替えることのできないところに置かなくても切り替えることができない場合は、直接指でご使用端末のホーム画面を切り替えて、または1本指でクリックすることで画面を活性化してください。それもだめなら、「Assistive Touch」をオフオンにするか、Bluetooth接続をやり直すか、それともお手持ちのデバイスを再起動してください。

⑥ピンチオープンすると拡大し、ピンチクローズすると縮小する:2本の指をお互いに寄せて置くジェスチャはiOSデバイスの内蔵ブラウザのみで使用できます。

6)メール返信など長文を入力する際に手首がタッチパッドに触れて想定外のマウスポインター動きやジェスチャ機能が発生し、タッチパッドを利用しない場合はFn+Spaceでキーボードのタッチパッド機能を一時禁止してください。

7) タッチパッドが誤作動する

回答→①タッチパネルはかなり敏感にできているので、小さな汚れや水滴でも反応することがあります。一度、しっかり綺麗に拭いてみてください。

②タッチパッドをご使用になる前には、ご使用端末のタッチパッド機能を有効に設定してください。さもなければ、【1本指でタップする】、【3本指でタップする】、この二つのジェスチャが使用できない場合があります。しかも、この二つのジェスチャはご使用端末で説明書のと一致してカスタマイズする必要があります。説明書の【タッチパッドジェスチャのカスタマイズ設定】の内容をご覧ください。

マウスポインターの移動速度を調整したい場合、お手持ちのデバイスで、設定→アクセシビリティ→タッチ→Assistive Touch→軌跡の感度という手順でご設定ください。

Mac OSデバイス:

1. ご使用前にFn+Eを押してMac OSに切り替えてください。

2. 一部の古いOSバージョンのMacデバイスではいくつかのジェスチャが使用できませんが、あらかじめご了承ください。



クリック⇒
1本指でタップする



ポインターが動く⇒
1本指でスワイプする



ドラッグ⇒
1本指でダブルタップしてぐっと止めて動かす



ピンチオープンすると拡大し、ピンチクローズすると縮小する
(Safari MacOS内蔵ブラウザのみ対応)⇒
2本の指をお互いに寄せて置く



上下にスクロールする⇒
2本指で上下にスワイプする



起動中のAppを左に切り替える(Cmd+Shift+Tab)⇒
3本指をタッチパッドに置いて左にスワイプする



起動中のAppを右に切り替える(Cmd+Tab)⇒
3本指をタッチパッドに置いて右にスワイプする

オートスリープに関して

キーボードを 10 分間使用しなければ、自動的にスリープ状態に入り、キーボードのインジケータランプは消灯し、任意のキーを押したら、3 秒間以内にキーボードを呼び起こし、インジケータランプは点灯します。

製品のお手入れ方法

1. このキーボードは防水仕様ではないので、液体が入ることを避けてください。でないと、故障 / 連打が生じる恐れがあります。濡れた手で本製品に触らないでください。液体と湿気のある環境に暴露させないでください。雨に濡れないでください。バス、水槽、サウナ、プール、あるいはスチームハウスで使用しないでください。
2. 定期的にキーボードのほこりを掃除機で掃除するか、ヘアブローヤーで吹き飛ばします。
長い時間使用しない場合、キーボードを布などで覆います。
3. キーの隙間にある紙くずや髪の毛などの異物を定期的に掃除します。
4. キーボードを持ち運ぶ時、キーは硬いものに重くぶつけられることを避けてください。日常使用時に非常に大きい力でキーを押さないでください。キーの故障の原因になります。

5. 安全にお使い頂くために製品を自分で分解、改造、修理しないでください。
6. キーボードはスリープ状態でも、自動的に放電し始めることがありますので、電池の使用時間を長く持つために、ご使用後は必ずキーボードの電源スイッチをオフにしてください。
7. 商品と電池は極端な低温または高温の場所に暴露させないでください。直火に近づかないでください。例えば、ストーブ、ろうそく、暖炉など。
8. 鋭利なものを使用して製品を傷つけないでください。
9. 商品を清潔に保つために柔らかい布で丁寧に拭き取ってください。
10. 溶剤や他の洗剤などは製品を損傷する可能性がありますので、ご注意ください。
11. このキーボードを子供様の手の届かないところに置いてください。